



12月10日は、上級生が下級生のお世話をしながら、文字を清書。イラストを描いたり、色をぬったりして、楽しい年賀状に仕上げていました。

2010年もよろしく。そして、健やかに!!

西部小の全児童が地域の高齢者に年賀状

西部小学校では、地域の高齢者に心温まるお正月を迎えてもらい、1年を健やかに過ごしてほしいと願い、毎年、全児童が年賀状を送っています。今年は児童61人が、町の老人クラブ（白雲会）会員で81歳以上の141人に送付。子ども達は学校の勉強やスポーツなど頑張っていることや目標などにあわせ、健康への労わりや長寿を願う気持ちをハガキいっぱいに書きました。

この取り組みは、老人クラブの集まりに訪問し、音読や劇を発表するなどのボランティア活動を機に、学校の催しに案内したり、昔遊びやしめ縄づくりなどで交流が深まったことがきっかけ。その交流へのお礼や町の歴史づくりに敬意を表すために、10年以上続く児童会活動です。これまでは、メッセージに感動されて、学校に会いに来られたことや、入院先に家族の方が届けた年賀状を見て涙を流して喜ばれたなど、感動的なエピソードも児童たちに届いており、お年寄りと児童のあたたかな交流や心の育成が続いています。

チーム一丸となって九州選抜大会でも優勝を!!

中央中がドリーム旗争奪中学生軟式野球大会で初優勝

第11回佐賀県プロ野球県人会ドリーム旗争奪中学生軟式野球大会（県プロ野球県人会と佐賀新聞社主催）で初優勝した中央中野球部が、3月に行われる九州選抜大会でも持ち前の力を発揮しようと、練習に打ち込んでいます。

11月15日、みどりの森県営球場で行われた決勝戦では浜玉中に3-1で勝利。全6試合を制し、44チームの頂点に立ったものでした。

中島茂樹監督率いる部員は、現在27人。大会最終日は、新型インフルエンザでレギュラー3人を含む6人が欠場した中での成績に、監督は「優勝できたのは、基礎練習の積み重ねと試合に向けての体づくり、それに数々の公式戦、練習試合を経験してきた成果で、生徒が判断力を養ってきたからではないか」と分析。また、「基本は学校生活にあるので、勉強と野球の両輪で伸ばすのが指導方針」と話され、生徒の成長を期待されています。

太田雄也主将とこの大会で最優秀選手賞を獲得したピッチャーの山口裕也選手は、「次もみんなで優勝を勝ち取りたい」と話し、目標に向けてチーム一丸となっていました。



▲大会優勝旗や表彰状を手に、九州選抜大会での優勝に向けて決意を新たに中央中野球部のみなさん

市民の安心安全に一丸特別警戒パトロール隊が出発式

年末年始の交通事故や犯罪を防ぎ、市民の安心・安全に署員が一丸となって取り締まる年末年始特別警戒パトロール隊の出発式が多市役所で行われました。玄関前に警察署員やパトカーなどの車両13台、バイク8台が整列。横尾市長のあいさつや森勝司小城署長の訓示を受けてパトロール隊は、市内の警らに一齐に出動しました。



春にはたくさんのチューリップがお出迎え

東部小5年生の児童と鉄道OB会のみなさんが、チューリップの球根約1000個をJR東多久駅の花壇や構内に植えて、駅の「春の装い」の準備をしました。今年の夏もたくさんのひまわりで、駅を彩ったみなさんは、「春も私たちの植えた花で、駅の利用者やまちのみなさんによるこんでもらえたら嬉しい」と、色とりどりの花が咲き並ぶのを楽しみにしていました。

